



『 向 日 葵 』



初回特大号 2019.06.07

○入学式・福祉科開科宣言・対面式

4月8日（月）に入学式が実施されました。入学式では「福祉科開科宣言」が行われ、口加高校に今年度から新しく福祉科が開科されることが宣言されました。

その後、新入生107名の入学が許可され、高校生活の第一歩を踏み出しました。福祉科は17名の生徒が入学し、口加高校福祉科1期生となりました。

入学式終了後は対面式が行われ、新入生と2・3年生の在校生が初めて顔を合わせました。3年生の生徒会長から歓迎の言葉をいただき、新入生の普通科各コース（普通コース・グローバルコース）と福祉科から生徒代表1名ずつが新入生代表挨拶を行いました。福祉科からは宮田彩加さん（北有馬中学校出身）が、福祉マインドを身につけ、全員で介護福祉士国家試験に合格することを目標に掲げました。



福祉科開科記念式典「 -出航- departure 」

第1部 開科式 祝演奏「糸」

全校生徒で中島みゆきさんの「糸」を、手話を交えて合唱しました。



第2部 福祉講演会

文科省の矢幅清司視学官に講演をしていただき、「福祉の未来と可能性」を熱く語っていただきました。その後、日本介護福祉士会の石本淳也会長や長崎純心大学の潮谷有二教授、長崎ウエスレヤン大学の中野伸彦教授、長崎国際大学の柳智盛准教授を迎えて、「福祉座談会」行いました。



○福祉科教員の紹介

福祉科主任 森田 潤也

「福祉＝介護？」「福祉＝高齢者？」、自分も昔、そんなイメージを持っていました。しかし、福祉を学ぶうちに福祉って、介護や高齢者以外にも、子ども、お母さんやお父さん、地域、介護ロボットやAI、美容、スポーツ、経済、音楽などなど、福祉の世界は介護以外にも多岐にわたり広がっていて、福祉は「他人ごと」とは違って、実は現在、自分も何かしらの形で「福祉」と繋がっていることを学びました。そしたら、福祉のことをもっともっと知りたくなりました。福祉を学ぶということは、人について学ぶということ！本当に楽しい、知って得する福祉と一緒に口加高校で学びましょう！ぜひ、見学にお越しください！

福祉科1年4組担任 高月 優

4月から1年4組福祉科の担任をしている高月です。クラスは全員で17名、それぞれが目標に向かって高校生活を送っています。介護福祉士の国家試験に絶対に合格しようと学習に取り組んでいる生徒や、部活動にも熱心に参加している生徒など様々です。入学直後は人とコミュニケーションをとるのが苦手だったという生徒も、この福祉科のクラスでは積極的にコミュニケーションをとることができているという生徒もいます。

高校生活の3年間は、様々な経験をすることができ、人間的に大きく成長することができる期間です。今後も福祉科は色んなことにチャレンジしていきます。皆さんどうぞよろしくお願ひいたします。

福祉科実習助手 竹下 朋江

はじめまして！実習助手の竹下朋江と申します。

福祉科一期生と共に学び、共に成長して口加高校福祉科を盛り上げていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

今年度は上記の3名に加え、「こころとからだのしくみ」の授業を週1時間担当される非常勤講師の山口奈美先生がいらっしゃいます。

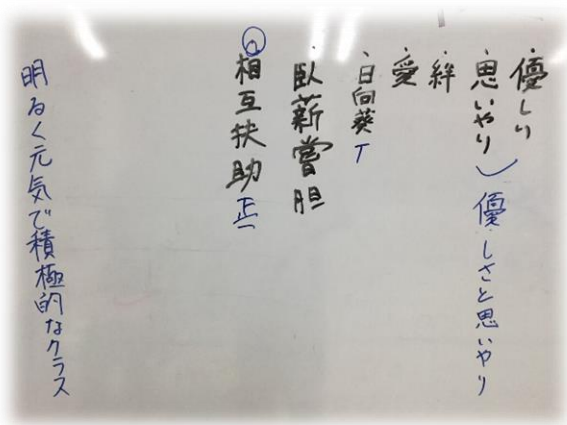
生徒全員が介護福祉士国家試験に合格するよう全力を尽くしていきます！



○福祉通信タイトル「向日葵」に決定！

今回初めて、福祉科通信を発行しました。福祉科通信のタイトルが「向日葵」に決まった背景には、1年4組福祉科の生徒たちの活動が関係しています。

1年生は毎年、入学式を終えると宿泊研修が行われます。この宿泊研修では、2泊3日の集団生活のなかで、高校生活の心構えやクラスの仲を深めていきます。そのなかで、クラスの学級目標を決める時間があります。教員が具体的に指示を出すことはなく、福祉科の生徒が自分たちで目標を決めていきました。最終的に「相互扶助」という福祉科らしい目標に決定したのですが、その過程で候補として挙がったのが「向日葵（ひまわり）」です。向日葵のように明るく元気なクラスでありたいという願いが込められています。このまま不採用にしておくのはもったいないと思い、福祉科通信のタイトルに採用しました。また、向日葵は「南島原市の花」でもあるため、南島原市の未来を福祉科の生徒が担ってほしいという想いも込められています。



長崎県立口加高等学校 福祉科
長崎県南島原市口之津町甲 3272 番地
TEL 0957-86-2180 Fax 0957-86-2307
Mail: 70190kokafukusi@news.ed.jp